

第41回感謝の海支援学校との交流会
共同目標「ひろげよう 笑顔の輪 交流の輪
手と手をつないで一緒に歌えば 友だちさ」

第41回感謝の海支援学校との交流会



【編集・発行】PTA広報委員会 平成25年12月

京都府立
鳥川悦谷高等学校

まつり

PTA会員より

「ことばの重み」

一 会 員

今年の春からPTA役員をさせて頂いて早いもので8ヶ月程が過ぎようとしています。先生方には学業に、クラブ活動にと指導して頂き大変ありがとうございます。これから社会に出る上で子供達に1つ言つておきたい事があります。

私は以前、下の子供が高校の時、ことばの公演という催しがあり、参加をしました。その講演の中で、「ことばで人は殺す事も出来るし、生かす事も出来る」という一言です。極端な言い方の様ですがそのことばに衝撃を受けながら聞き入っていた様な記憶があります。

近年、面と向かって話をする事が少なく、携帯と向き合う事の方が多い世の中になってきました。又、家庭の中でも携帯を使う事もある様です。高校を卒業するまでには話す事の大切さをしっかり認識して一つ一つのことばに責任を持って社会に進んでいってほしいものです。

最後に残り少ない高校生活を悔いの無い様に！！

「時代が変われど、

親の思いは変わらない」

一 会 員

加悦谷高校には、娘と息子が在学中です。性格は全然違いますが、クラブに力を入れているのが共通点で二人で話をしている姿をよく目にします。しかし、子どもとはなかなか話をする時間もなく…。二人とも暇さえあれば携帯を見ているので、口うるさく叱ってしまうときもあります。

今の情報化社会（ネットやSNS）の中で育つ子供たちは“人と会話をする”ことより携帯に心の中の思いをつぶやき気持ちを安定させているといいます。私たちの世代では考えにくいことです。今の時代を親も理解していかなければいけないという気持ちもあります。

乳幼児期は、肌・手を離さず。幼年期には、目を離さず。青年期には、心を離さず。という言葉を耳にしたことがあります。『昔からの子育ての鉄則』だそうです。親が子どもの心をしっかりとつかまえ信じていれば子どもは自分で考え行動し、時には失敗し、それを人生の経験していくことでしょう。人に優しく、誇りをもち、自分の信じる道を歩んでいってほしいです。応援しています！！

「無 題」

一 会 員

「勉強せんと高校受からんで」なんて言いながら入った高校も、もう半分終わって来春には3年生。「早い！」の一言です。3年生になればすぐ進路。また、ひやひやしながらの早い一年になるんだろうなあと想いながら、今度は我が子が社会に出たらどうなるんだろうと考えると、とても心配です。

現状、あたり前のように何でも親にしてもらって（親がてしまっているのか）、周りがしてくれて、感謝しているか、していないのか、甘え甘やかしで今まで来ているので社会に出た時、努力するとか気配りができるとか、まともな事ができるのかすごく心配です。

何か勉強でもクラブでも生活面でもしんどい事から逃げず、自分の意志で頑張ることができたら、社会に出た時、勉強が少々できていなくても「よし、頑張ろう！」という意欲をもって取り組むことができ、社会（会社）の役に立てると思っています。

まだ少し社会に出るまで時間があるので、めんどくさい事、しんどい事から逃げず、友達とは今と変わらず楽しくできて、将来のことも考えつつ残りの学校生活を送って欲しいと思います。

「無 題」

一 会 員

長男に続き長女がお世話になっています。今年初めて体育祭を見学することが出来ました、長男の時は、親が行くと恥ずかしがって嫌がるだろうと思い、行かなかったのですが、今年はPTA役員もあり、見学する事が出来ました。まず驚いた事は、保護者の方が沢山見学に見えてた事です。長男の時は「子供が恥ずかしがるから」と言いましたが、実は私が余り関心がなかったのかなと、自責の念を感じました。

長女は運動は苦手ですが、でも一生懸命頑張っている姿は胸にジンと来るものがありましたし、「あー自分も十数年前に同じ時期があったのだなーと」ノスタルジックになりました。見学出来て本当に良かったです。

体育祭や文化祭での子供さんの姿を一度も見られた事の無い保護者の方は、ぜひ来年は見学に来てください。重ねてPTAのバザーにもぜひご協力ください。



2学期振り返って

丹後文化祭典



9月28日(土)、29日(日)に網野体育センターにて第18回丹後文化祭典が開催されました。本校からは書道部、茶道部、美術部が参加し、書道部が団体の部では特別賞、個人の部では3年の小川千晴さんが奨励賞を受賞しました。

アベリスツイス高校生来校



10月30日(水)、5名の高校生が書道の授業でうちわに「愛」「笑」「平和」など揮いました。

また、茶道部による呈茶、きもの着付けを体験し日本の伝統文化を学びました。

加悦中との合同ボランティア



10月9日(水)、加悦中学校の生徒と合同で中学校から高校間の自転車道のゴミ拾いを行いました。両校の参加者は50名を超えて、ゴミ袋10個のゴミを回収しました。

両丹高校駅伝

10月19日(土)、海洋高校を発着点として、男子は7区間31kmを女子は5区間13kmを走破しました。結果は男子が6区で区間2位の力走を見せ最終6位に、又、女子も7位と健闘しました。



与謝の海支援学校との交流会

11月2日(土)、与謝の海支援学校にて府立学校6校での交流会が開催されました。本校からは生徒会、吹奏楽部の生徒35名が参加し、総務局長の糸井さんが中心となって加悦高生が成功に大きく導いてくれました。



PTA行事

染色教室(7月9、10日)



今年で20回を迎える染色教室を与謝野町染色センターの増田通正氏の指導のもと7月9日・10日の二日間にわたり4ブロック11団体、生徒延べ130名の参加をいただき、約600枚のTシャツの作成をしました。

中には、プロ顔負けの凝った染色を行っている団体もあり、驚きました。男子生徒も大勢参加していただき嬉しく思います。

体育祭バザー(9月10日)



好天の中、9月10日(火)に体育祭が開催され、PTAでは昨年に引き続きジュース販売のバザーに取り組みました。

今年の体育祭は1日順延となった平日の火曜日という日程にも関わらず、沢山の親御さんたちの声援の中、熱気あふれる生徒たちの熱い闘いが繰り広げられました。

今年は体育祭の内容が一部変更となり、バックスクリーンの制作がないなど、少し寂しく感じましたが、生徒たちの躍動には感動を感じました。加悦谷高校卒業後、33年ぶりに母校の体育祭を見学しました。33年前の記憶が蘇るとともに、予想していた以上に生徒たちは一生懸命に取り組み、ダラダラとした態度の生徒は一人もなく、すばらしい体育祭であったと思いました。本当に若いということは素晴らしいことだと実感し、「加悦谷高校ここにあり」と改めて再認識したところです。生徒の皆さんも、今後、加悦谷高校を卒業してからも、今日の体育祭の思い出はいつまでも心に残ると思います。

また、ジュースの販売も順調で、PTAとしてこの生徒たちの熱気に満ちた体育祭に参画できることは、大変有意義であったと思っています。PTAを中心にした保護者と生徒との関わり、そして保護者同士の繋がりは大変重要であり、今後も引き続き、いろんなイベントを通じて保護者と生徒との関わりを保ち続けていくことが大切であると実感しました。

交通安全街頭指導(9月21~30日)

今年も京都で登校中に児童達が若者の無謀運転による交通事故にまきこまれました。町の中にも通学路を色分け表示してあるのを見かけるようになりました。日頃、高校生の通学風景をあまり見ることがないですが、交通安全街頭指導にPTA役員として参加しました。長時間は立っていないですが、いろいろなルートで自転車に乗ってくる生徒達の表情を見るることができました。生徒達の一人一人の注意はもちろんのことですが、保護者の皆さん、地域住民の皆さんも子供達が安全に通学できるよう注意し、見守っていけたらと思います。



第2回着付け教室(10月30日)



着付け教室が本校被服教室において、行われました。

前回に引き続き、長島先生と藤田先生を講師にお招きし、ご指導いただきました。

今回は小紋と名古屋帯の着付けでした。女子生徒だけでなく、男子生徒や先生の参加もありました。最初に自分で着物を選ぶのですが、女子生徒たちは、どの色にしようか、どの柄が似合うだろうかと、あれこれ迷っていました。

小紋の着付けは前回の浴衣に比べ使う小物も増え、手順も多くなり、生徒たちは難しそうでした。特に帯を結ぶときは、自分

の背中の動作となる為、なかなか一人で行うのは大変で、先生の手を借りる生徒も多かったです。一人ずつ丁寧に教えてくださいました。着付けが終わると、出来上がりの満足感からか、皆、自然と笑顔が見えました。

第3回は振袖です。また、すてきな時間になるといいなと思います。

京都府立学校PTA指導者研修会(11月9日)

今年度の京都府立学校PTA研修会が11月9日(土)に大江高等学校を会場として開催され、本校PTAからも本部役員が参加させていただきました。この研修会の趣旨は、家庭・学校・地域社会の連携で、「安心・「安全」な社会を築き、心豊かな青少年の育成を!~「生きる力」・「人を思いやる心」・「心の教育」を家庭から~というテーマでの開催でした。



午前中は、京都パープルサンガGMの祖母井秀隆氏の「スポーツと子供の成長の関わり方」をテーマにご講演いただきました。この講演において、子供たちへの接し方等を述べていただきました。昼食時には、アトラクションとして大江高校の吹奏楽部の演奏を楽しませていただきました。



午後の部は、「家庭教育とPTA」・「高校教育とPTA」・「特別支援教育とPTA」という三つの分科会に分かれ研修を行いました。私は第2分科会に参加させていただき東舞鶴高等学校PTAの発表のあと、各高等学校PTAの取り組みを発表いただきました。各校においても独自の取り組みをされており、我が校においても参考にして今後のPTA活動に取り入れさせていただき、加悦谷高等学校PTAを盛り上げていきたいと考えております。



今後の
予定

1月10日(金) 第2回選考委員会
21日(火) 本部役員会19:30~ 役員会20:00~
22日(水) 広報委員会19:30~

2月22日(土) 第2回PTA総会
23日(日) 第3回きもの着付け教室

第65回学校祭 スローガン「刻めHistory！ いつアツくなるか？ 今でしょ！」

9月4日(水)～6日(金)の3日間にわたり文化祭を、そして10日(火)に体育祭を開催しました。2日目には、今年で41回目を迎える与謝の海支援学校との交流会が行われました。なお、ステージ部門では12クラス中、演劇が9クラス、ダンスが4クラス発表しました。

1年1組



演劇 「モモタロー」

Ⅲ類では1年生ながら久しぶりに演劇に挑戦しました。それが達成感、充実感を得ることができました。

1年2組



演劇 「河童の涙」

全員で取り組むことで、クラスの団結力を強めることができました。

1年3組



演劇 「糸」

一人一人が自分のなすべきことをやり遂げ、一致団結して1年3組らしい演劇を作り上げることができました。

1年4組



演劇 「シンデレラ」

一人ひとりが、責任をもって取り組みました。この演劇を通して、それぞれがクラスに自信と愛着を持てるようになりました。人として成長しました。

2年1組



ダンス 「Funky 2nd dancing」

限られた時間内でダンスと難易度の高いダブルダッチにも果敢に挑戦できました。

2年2組



演劇 「幽恋物語」

戦争をテーマに生徒が一から脚本を完成させ、素晴らしい団結力で演じることができました。

2年3組



演劇 「いぬのはなし」

クラスで意見を出し合った物語。演劇の難しさを実感しました。

2年4組



ダンス 「テアリオチ24番地～WondEr Town～」

いろんなcolorの個性豊かな24組。それぞれの良さをギュッと集めて元気に楽しくアピールしました。

3年1組



ダンス 「GTK31～season11～」

今年のテーマは「カッコよく」、「楽しく」全員で楽しみ、見事最優秀賞を受賞しました。

3年2組



演劇 「You can't stop the beat ~コニーノーリンズショー」

ダンスと演劇をおりませて、全員の気持ちを1つにして最優秀賞を獲得することができました。

3年3組



演劇 「勇者というのは」

コメディー劇に挑戦し、3組らしく演じました。照明、音響、大道具、小道具、黒子とキャストが心を1つにして取り組みました。

3年4組



ダンス 「SUMMER LIVE ～いつやるの?今でしょ!!～」

学校祭最高！ダンス最高！最後の学校祭。気持ちを1つにして取り組みました。

クラブ発表の部

吹奏楽部

書道部

化

ESS部

祭

美術部

茶道部





9月10日(火)、学校祭を締めくくる体育祭が快晴のもと繰り広げられました。競技、ブロックパフォーマンス等、加悦高生らしく一生懸命でさわやかに躍動しました。また、PTA役員さんによるジュース販売もお世話になりました。ありがとうございました



パフォーマンスの部

